 mayak54909820 May 24, 2018 10:06 PM

IndesginCC2018で自動結合したあとに Javascriptで条件分岐

This question has been **Answered**.

IndesignCC2018をMac OS Sierraで利用しています。XMLでデータ結合をして、そのXMLで読み込んだ画像数が一定値を超えた場合に、超えた分の画像を次のページに表示させるように条件分岐したいと思っています。

その場合Indesign上でXMLファイルを読み込んで自動結合させてから、.jsxファイルでスクリプトを動かして条件分岐が必要だと思っています。その場合IndesginでXMLを読み込んで自動結合させてから.jsx ファイルでもXMLファイルを読み込めばいいのでしょうか？

XMLは経験あるのですが、スクリプトを使った自動化をAdobeでしたことがないので何かアドバイスがあれば教えてください。

Adobe上のJavascriptではDOMとjQueryが使えないのは理解しています。

※InDesignコミュニティフォーラム (Japan) から アプリケーション自動化総合コミュニティフォーラム (Japan) に移動しました
[moderator]



Correct Answer

by macneko.ayu on May 27, 2018 3:57 AM

ご回答いただき、ありがとうございます。

>XMLは必須ということはありませんがXMLに慣れていたので、データを全てXMLで準備してしまったのが現状です。特別な理由がない限りXMLを利用する必要がないというのは、具体的に今回のプログラムでは他に最適な言語があるという意味でしょうか？

XML利用が必須かどうかを聞いた理由ですが、なんらかの自動化プラグインでマークアップされたXMLタグを再利用する可能性を気にしていました。

InDesignでのXML組版を何度か経験しているのですが、XML構造が壊れやすく苦慮したので、「特段の理由がない＝自動化プラグインを使用していない」限りXMLは使用しないようにしています。

今回のプログラムに関しても、JavaScriptを使用すれば、フォルダ内の画像を取得

してInDesignに貼り込むことができるため、XMLファイルを作成する手順を省くことができますね。

>ブランドについてです。

>1つのInDesignファイルに複数のブランドが入るようになります。（ただしブランドごとにページは違います）画像はすべて1つのXMLファイルに収まっています。画像自体はブランド別にディレクトリをわけて（複数のディレクトリで）管理する予定です。

画像がブランドごとにフォルダ分けしてあると、スクリプトで自動化するためにも、InDesignドキュメントに貼り込んだのちの管理のためにもおすすめです。

今回の要件では、私なら下記のようなフローで実現すると思います。

1. 画像を貼り込むためのInDesignドキュメントをあらかじめ作成する
2. 貼り込む画像をブランドごとにフォルダ分けして、一つのフォルダにまとめて格納する
3. JavaScriptで1のドキュメントを開き、2の画像を貼り込むJavaScriptを作成する

上記フローのJavaScriptを作成する部分がキモではあるのですが、勉強のために自分で書くには、そこそこ難しい内容かなと思います。

おそらく一番簡単な実現方法は、

1. Subiさんが紹介されているコンタクトシート作成の記事を参考にしてブランドごとのドキュメントを作成
2. 1のドキュメントからブランドごとのPDFを作成
3. 2のPDFを結合して1つのPDFを作成

でしょうか。

PDF化が手間な場合は、InDesignのブック機能でInDesignドキュメントをひと繋がりになるようにすると良さそうです。

XMLを使用して実現する場合は、面倒ですが

1. ブランドごとに画像数を数えて何ページになるか計算する
2. 1で計算したページ数のドキュメントをブランドごとに個別に用意する
3. ブランドごとのドキュメントを1つずつ開いて、XMLを取り込んで画像を貼り込む
4. 以降は上述したPDF or ブック機能のフローを参照

でしょうか。

XMLを取り込む処理をJavaScriptで書けば、いくらか自動化できると思います。

長くなってしまいましたが、ご参考まで。

1282 Views

Tags : [javascript](#), [adobe indesgin](#)

4 HELPFUL

MOST LIKED

Subi Omu May 24, 2018 10:31 PM (in response to [mayak54909820](#))

Re: IndesginCC2018で自動結合したあとにJavascriptで条件分岐

まず、データ結合の「複数レコード」機能での配置ではだめということでしたらその理由は何でしょうか。
画像の大きさがまちまちで固定レイアウトに流し込めないのかな？と思いました
が...

データ結合まではご自分でできるのでしたら、まずそこまで中身は仮データでいいので作ってスクリーンショットで見せていただけるとアドバイスがしやすいです。
その状態によってその後の処理が変わってきますので。

Actions ▾

 Edit

 Delete

 Report Abuse

 Like (0)

mayak54909820 May 25, 2018 12:40 AM (in response to [mayak54909820](#))

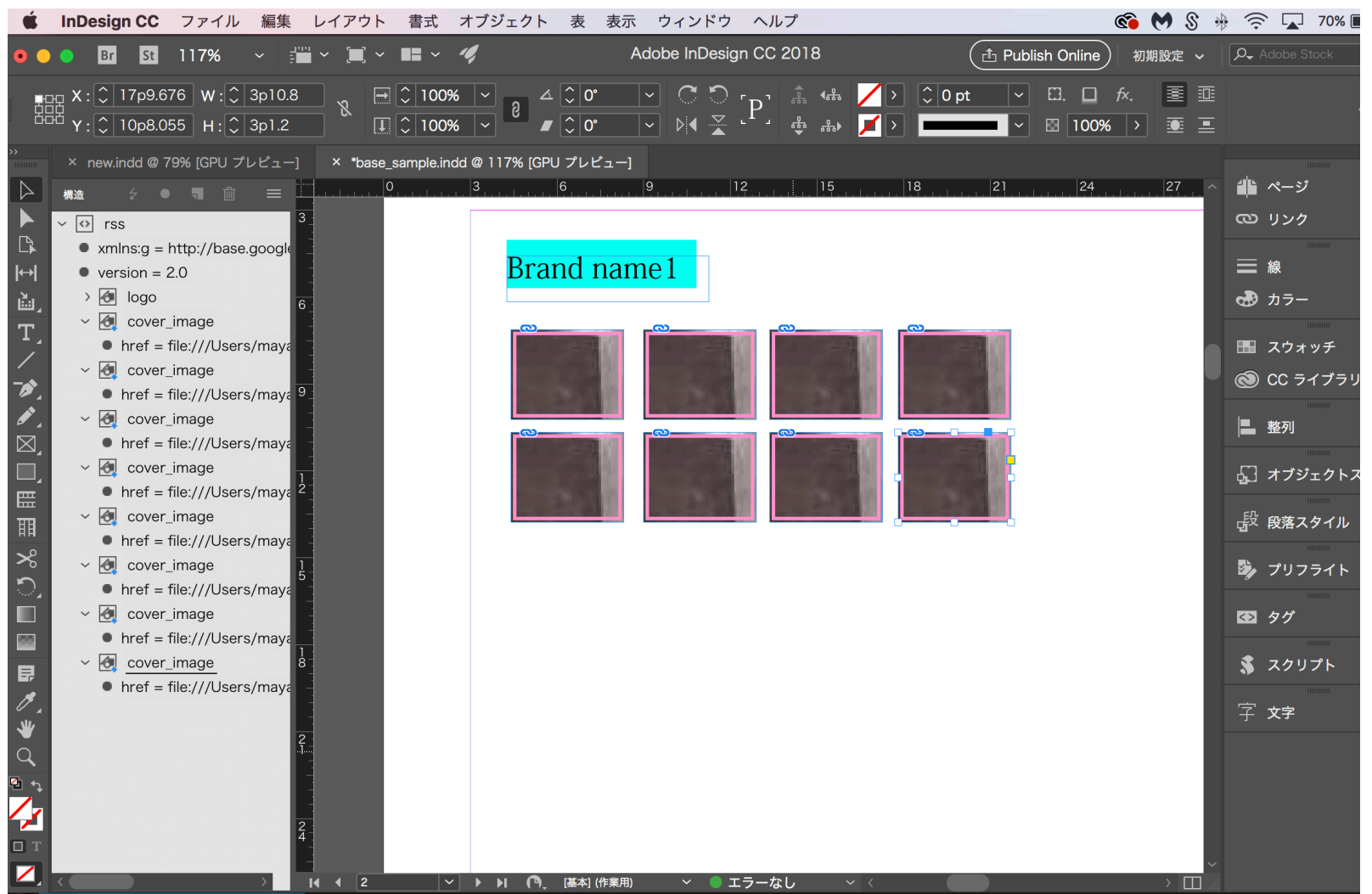
Re: IndesginCC2018で自動結合したあとにJavascriptで条件分岐

コメントありがとうございます。画像を添付いたします。
このような感じで写真を読み込みたいのですが、ブランドによっては5つしかないものや20を超えるものもあるので、XML上で画像数が20を超えている場合は次のページに画像を繰り越して表示させる。という処理にしたいんです。

その場合「複数レコード」や「XMLで読み込んでデータ結合」では対応できないのでスクリプトにしないといけないかなと思いました。

なので実際に画像が30点になった場合は今画像をいれているピンク色のフレームを新規で追加するという処理をスクリプトで書かないといけないかなと思っています。

(できるかどうかは未確認ですが)



1 person found this helpful

Actions

Edit Delete Report Abuse Like (1)

Subi Omu May 25, 2018 3:18 AM (in response to mayak54909820)

Re: IndesignCC2018で自動結合したあとにJavascriptで条件分岐

この内容ならBridgeのコンタクトシート作成機能でできるかな？と思いましたが、ブランドごとにページ分けはできないようです。

(参考) [出力ワークスペースでPDFコンタクトシートを作成](#)

Windowsだとフリーソフトの「Snap2IMG」などがありますが、Macでは見つかりませんでした。

InDesignでやるのでしたら、例えば1ブランドの画像をページからはみだしてもいいので無理やり1ページにデータ結合で全部流し込み、その後スクリプトで画像がこの座標にあったら（21枚以上だったら）ページを追加して移動する、を繰り返すのが一番簡単かなと思います。

Actions

Edit Delete Report Abuse Liked (1)

mayak54909820 May 26, 2018 10:40 PM (in response to Subi Omu)

Re: IndesginCC2018で自動結合したあとにJavascriptで条件分岐

ご回答ありがとうございます。Mac用のソフトも調べていただいたようで、どうもありがとうございます。ピンクになっているフレームの1つ1つにXMLのタグ付けがされているので、例えば20個分のフレームをカタログの中に用意してしまったとして、20を超える画像をXMLで用意した場合ははみ出るというよりは読み込めないで、JavascriptでもXMLのデータを読み込んで画像数を取得、20を超える場合には次のページに繰り越し。というようにしたいなと思っています。

なので今のXMLコードでは「はみ出る」という状況をつくりづらいため、画像がはみ出たら次のページに移動というのが難しいかと思いました。

せっかくご提案いただいたのに、このような回答ですみません。

Actions

Edit

Delete

Report Abuse

Like (0)

macneko.ayu May 25, 2018 3:48 AM (in response to mayak54909820)

Re: IndesginCC2018で自動結合したあとにJavascriptで条件分岐

JavaScriptでのアプローチを考えているのですが、前提条件として、いくつかお聞きしたいことがあります。

まず、XML利用は必須でしょうか。

他のデータなどからXMLを転用する目的でのXML利用なのか、ご自身がXMLが使い慣れているからXML利用なのかで、アプローチが変わってくるかと思います。個人的には特別な理由がない限り、XMLを利用する必要はないのかなと思っています。

続いて、ブランドについてです。

1つのInDesignドキュメントに複数ブランドの画像を貼り込むのか、ブランドごとにInDesignドキュメントをわけなのか、ブランドの画像はどのように管理されているのか（1つのディレクトリに全ブランドが格納されている、ブランドごとにディレクトリをわけて管理している、など）を教えてくださいませんか。

Actions

Edit

Delete

Report Abuse

Like (1)

Re: IndesginCC2018で自動結合したあとにJavascriptで条件分岐

アドバイスを ご投稿いただきありがとうございます。

XMLは必須ということはありませんがXMLに慣れていたので、データを全てXMLで準備してしまったのが現状です。特別な理由がない限りXMLを利用する必要がないというのは、具体的に今回のプログラムでは他に最適な言語があるという意味でしょうか？

ブランドについてです。

1つのIndesignファイルに複数のブランドが入るようになります。（ただしブランドごとにページは違います）画像はすべて1つのXMLファイルに収まっています。画像自体はブランド別にディレクトリをわけて（複数のディレクトリで）管理する予定です。

Actions ▾

 Edit

 Delete

 Report Abuse

 Like (0)

macneko.ayu May 27, 2018 3:57 AM (in response to mayak54909820)

Correct Answer Re: IndesginCC2018で自動結合したあとにJavascriptで条件分岐

ご回答いただき、ありがとうございます。

>XMLは必須ということはありませんがXMLに慣れていたので、データを全てXMLで準備してしまったのが現状です。特別な理由がない限りXMLを利用する必要がないというのは、具体的に今回のプログラムでは他に最適な言語があるという意味でしょうか？

XML利用が必須かどうかを聞いた理由ですが、なんらかの自動化プラグインでマークアップされたXMLタグを再利用する可能性を気にしていました。

InDesignでのXML組版を何度か経験しているのですが、XML構造が壊れやすく苦慮したので、「特段の理由がない＝自動化プラグインを使用していない」限りXMLは使用しないようにしています。

今回のプログラムに関しても、JavaScriptを使用すれば、フォルダ内の画像を取得してInDesignに貼り込むことができるため、XMLファイルを作成する手順を省くことができますね。

>ブランドについてです。

>1つのIndesignファイルに複数のブランドが入るようになります。（ただしブランドごとにページは違います）画像はすべて1つのXMLファイルに

収まっています。画像自体はブランド別にディレクトリをわけて（複数のディレクトリで）管理する予定です。

画像がブランドごとにフォルダ分けしてあると、スクリプトで自動化するためにも、InDesignドキュメントに貼り込んだのちの管理のためにもおすすめですね。

今回の要件では、私なら下記のようなフローで実現すると思います。

1. 画像を貼り込むためのInDesignドキュメントをあらかじめ作成する
2. 貼り込む画像をブランドごとにフォルダ分けして、一つのフォルダにまとめて格納する
3. JavaScriptで1のドキュメントを開き、2の画像を貼り込むJavaScriptを作成する

上記フローのJavaScriptを作成する部分がキモではあるのですが、勉強のために自分で書くには、そこそこ難しい内容かなあとと思います。

おそらく一番簡単な実現方法は、

1. Subiさんが紹介されているコンタクトシート作成の記事を参考に、してブランドごとのドキュメントを作成
2. 1のドキュメントからブランドごとのPDFを作成
3. 2のPDFを結合して1つのPDFを作成

でしょうか。

PDF化が手間な場合は、InDesignのブック機能でInDesignドキュメントをひと繋がりになるようにすると良さそうです。

XMLを使用して実現する場合は、面倒ですが

1. ブランドごとに画像数を数えて何ページになるか計算する
2. 1で計算したページ数のドキュメントをブランドごとに個別に用意する
3. ブランドごとのドキュメントを1つずつ開いて、XMLを取り込んで画像を貼り込む
4. 以降は上述したPDF or ブック機能のフローを参照

でしょうか。

XMLを取り込む処理をJavaScriptで書けば、いくらか自動化できると思います。

長くなってしまいましたが、ご参考まで。

4 people found this helpful

Actions

Edit

Delete

Report Abuse

Liked (4)



10 A May 27, 2018 7:29 AM (in response to macneko.ayu)

ACP

Re: IndesginCC2018で自動結合したあとにJavascriptで条件分岐

画像フォルダのパスを取ってgetFilesメソッドを使って中身をリストアップし、得たもののconstructor.nameを見るとサブフォルダを判別できるのでサブフォルダ毎に改ページの後ループして配置は可能だと思います。

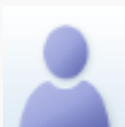
1 person found this helpful

Actions

Edit

Delete

Like (1)



yusuke.s May 28, 2018 10:02 PM (in response to 10 A)

Re: IndesginCC2018で自動結合したあとにJavascriptで条件分岐

InDesign で自動組版【Excel でコマ配置編】 | inside of tactsystem

画像の位置をスクリプトで判断せず、こういうふうに「指示書」を用意する方法もあります。ご参考まで。

TenAさんがおっしゃっているのは、getFiles関数の引数にコールバック関数を突っ込んで、中身がFolderかどうか判断できるってことですよね。

その関数を参考までに載せておきます。

```
function getFolders (path){
  var F;
  if (path.constructor.name === 'String' && /\$/\.test(path)){
    F = Folder(path);
  } else if (path instanceof Folder){
    F = path;
  } else {
    throw new TypeError('文字列型のフォルダパスを渡してください');
  }
  return F.getFiles(function (f){
    if (f instanceof Folder) return true;
```



```
});  
}
```

引数にはフォルダパスを示す文字列か、フォルダオブジェクトをそのものを渡してください。

どちらを渡しても動作するように作ってあります。

これで取得できたフォルダをfor文なりwhile文でループさせ、ページやドキュメントを立てていく...ということですね？

横槍失礼しました^^

5 people found this helpful

Actions



Edit



Delete



Report Abuse



Like (1)



ACP

10 A May 28, 2018 10:34 PM (in response to yusuke.s)

Re: IndesginCC2018で自動結合したあとにJavascriptで条件分岐

ありがとう。確かにマスクにインスタンスチェックを噛ませるほうが短くなる。わたしはconstructor.nameでチェックしました。

Actions



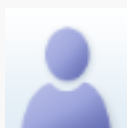
Edit



Delete



Like (0)



mayak54909820 May 28, 2018 10:37 PM (in response to macneko.ayu)

Re: IndesginCC2018で自動結合したあとにJavascriptで条件分岐

とても参考になりました。JavascriptにもExtend scriptにもあまり詳しくないのでとても助かりました。私だけでなく他の方の参考にもなったお返事だったと思います。感謝いたします。

Actions



Edit



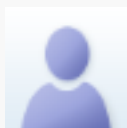
Delete



Report Abuse



Like (0)



mayak54909820 Jun 5, 2018 7:29 PM (in response to macneko.ayu)

Re: IndesginCC2018で自動結合したあとにJavascriptで条件分岐

度々すいません。

InDesignでのXML組版を何度か経験しているのですが、XML構造が壊

れやすく苦慮したので、「特段の理由がない＝自動化プラグインを使用していない」限りXMLは使用しないようにしています。

と以前回答いただいたのですが、XML構造が崩れやすいというのは具体的にどのようなことでしょうか？XMLで自動組版をしているのですが、一部うまくいかないところがありまして、よければどのような不具合がXMLで生じるのか教えていただけないでしょうか？

このまもうまくいかなければXMLから何か別のものに变更しないといけないかなと思っています。

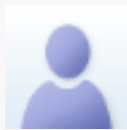
Actions ▾

 Edit

 Delete

 Report Abuse

 Like (0)



macneko.ayu Jun 6, 2018 5:48 AM (in response to mayak54909820)

Re: IndesginCC2018で自動結合したあとにJavascriptで条件分岐

私の経験では下記のような事例がありました。

- InDesign上でテキストを修正する際にXMLの開きタグ、または閉じタグの片方だけ削除（移動も含む）してしまい、XMLの構造が壊れてしまったため、その後のXML読み込みがうまくいかなかった
- InDesign上でフレームのカット＆ペーストやレイヤーの移動などすると、XMLのタグの順番がXML定義と乖離してしまい、その後のXML読み込みがうまくいかなかった

他にもあった気がしますが、失念してしまいました、すみません。

感覚としては、InDesign上で編集をすると壊れやすい感じで、1ドキュメント内に複数のXML構造が存在することに無理を感じました。

そのため、

- コマ組（XMLタグを適用したフレーム群）を1つだけ配置したInDesignドキュメントを作成する
- 1InDesignファイル=1XMLファイル（InDesignのファイル名とXMLのファイル名は拡張子違いの同名）
- 最終的にコマ組ドキュメントをEPS書き出しして、ページ組

という仕様にしました。

正直、あまりXML組版の旨味はなかったですね...

昔のことなのであまり覚えていないのですが、修正方法はざっくり下記のフローでやりました。

1. InDesign上で修正する
2. XML書き出しする
3. スクリプトなどで整形してFileMakerに取り込む
4. FileMakerから正しいXML定義のXMLファイルとして書き出す
5. 新しくコマ（XMLタグを適用したフレーム群）を配置したInDesignドキュメントにXMLを読み込ませ、EPS書き出しする
6. ページ組ドキュメントにEPSを貼り込む

一度FileMaker化したあとは、FileMaker上で修正して4～6の工程を繰り返していたと思います。

なお、2、3、5、6はスクリプトでほぼ自動化しており、5の段階で組版処理も完全自動化で行っていました。

たとえば、表組内のオーバーフロー処理、表組の高さに応じて各フレームのレイアウト調整などです。

参考になればよいのですが。

Actions ▾



Edit



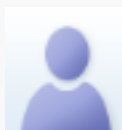
Delete



Report Abuse



Liked (2)



mayak54909820 Jun 8, 2018 12:56 AM (in response to macneko.ayu)

Re: IndesginCC2018で自動結合したあとにJavascriptで条件分岐

ご丁寧なお返事ありがとうございます。Indesignで読み込んだXMLの閉じタグもしくは開始タグのどちらかを削除してしまい、XMLの読み込みがうまくいかなかったということですね。

またIndesign上でフレームの削除や移動によりXMLの順序と合わなくなったために読み込みがうまくいかなかったのですね。

今のところ1つのIndesignファイルに対してXMLファイルが5つ

ぐらいありまして、商品の変更をXMLでおこなってそのままカタログを更新するようにしようとおもっているので、今回の話を聞く限りXML上での不具合が出てきそうですね。

他の方法も含めて検討しなおしてみます。ありがとうございます。

Actions ▾



Edit



Delete



Report Abuse



Like (0)